



第131回通常組合会を開催 令和4年度決算を承認

さる、7月29日（土）に第131回通常組合会を京王プラザホテル札幌において開催した。今回の議案は、組合会議員の改選により、議長・副議長と役員選挙、令和4年度決算の承認および剰余金処分案の決定は原案どおり可決された。

なお、組合員の方には、決算の詳細について、本誌第1260号附録で公告（道医国保公示第478号）しているものを別途送付いたしますので、ご参照願います。

以下、第131回通常組合会の概要についてお知らせする。

組合会は午後3時30分開会され、議員定数56名中、資格確認時20名（最終出席者数22名）、他に表決委任状提出者33名の出席があり組合会は成立した。

最初に長瀬清理事長から挨拶が行われた。

長瀬理事長挨拶

『第131回通常組合会を開催するに当たりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、全道各地からご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。平素より、当組合の事業運営に格別のご支援並びにご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

3年間という長きに渡って感染の拡大と縮小の波を繰り返してきた新型コロナウイルス感染症は、5月8日から2類から5類に変更になり、日常生活を取り戻す段階に移りましたが、その後、感染者数が再び増加傾向を見せ始めておりまして、医療現場では、まだまだ感染対策に神経を尖らせながら、日々の診療にあたることを余儀なくされている状況が続いており、本当に頭が下がる思いであります。

さて、令和4年度の事業につきましては、他の多くの保険者がコロナ禍で減少していた保険給付費の増加に戸惑いを見せる中で、当組合は落ち着いた状態を維持することができておりますので、お陰様をもちまして無事に終えることができました。詳しくは、議案審議の中でご説明させていただきますが、当組合では、1人当たりの医療費が高くなる65歳から74歳までの被保険者の割合が、全保険者の平均を上回るようになったため、平成30年度から国から財政調整の交付金を頂いておりますが、その交付金の額が年々増加をする一方で、先生方の医療費の増加額が落ち着いているため、当組合の財政は6期連続での単年度黒字が実現しております。

医師国保組合を取り巻く状況は、少子高齢化の進展による被保険者数の減少、次々と承認になっている超高額薬剤の給付が発生することによる財政負担増への不安、国の財源確保のために社会保障の歳出改革が検



長瀬清理事長挨拶

討される中で、令和2年度に終了をしたはずの「所得の高い国保組合に対する国庫補助率の見直し」が蒸し返えされることはないかという懸念など、問題が山積しております。47都道府県医師国保組合で設立した全医連では、「一つの組合も潰さない」ための「転ばぬ先の杖」として、規模の小さい組合を中心として合併・統合へのシミュレーションが行われようとしております。当組合は、組合員数が2,000人を割ってしまったとは言え、47医師国保組合の中ではまだまだ上位の人数を維持できており、諸先輩がこれまで築いてこられた蓄積された財産と6期連続で単年度会計収支の黒字を続けていることで、単独での財政運営に不安はありませんが、他の組合の動向等には注意を払い、組合員の皆様にとって存在価値のある組合を維持すべく、運営に努めていきたいと思っております。

本日の組合会は、ご案内のとおり令和4年度の収支決算のご承認と剰余金の処分について、加えまして議長・副議長と役員改選の議題がございます。

先生方には、慎重にご審議をいただき、ご承認を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、組合会開催に当たったのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。』



組合会議場

長瀬清理事長挨拶後、令和4年6月から令和5年5月までの1年間にご逝去された24名の組合員の方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。



三戸和昭常務理事から仮議長の選出について提案がなされ、仮議長には上村利彦議員（旭川市）が就任された。この後、上村利彦仮議長が議事録署名議員を次のとおり指名した。

空知ブロック 岩見沢市：大川 岩雄 議員
道東ブロック 十 勝：佐治 清 議員

議案第1号 組合会議長及び副議長の選挙について

三戸和昭常務理事から提案趣旨の説明が行われた後、上村利彦仮議長が選挙の方法について諮り、異議なく了承された。

各ブロックから1名ずつ選考委員が選出され、選挙に入った。選考委員9名に仮議長を加えた選考委員会によって行われた。

選考委員会の結果について、三木敏嗣選考委員長（札幌市）から下記の2名を候補者として選考した旨の報告が行われた。

上村利彦仮議長が採否を諮ったところ、全員異議なく次の両名が当選者として決定した。

組合会議長 函館市 佐藤 信清 議員（再任）
同 副議長 札幌市 神田 雄司 議員（再任）

議長、副議長就任挨拶後、佐藤信清議長が議長席に着いた。

報告事項に入り、三戸和昭常務理事から、業務報告（令和5年4月～6月）について報告が行われ、報告どおり承認された。

ここで、議長は佐藤信清議長から神田雄司副議長に交代し、議事が進行された。

議案第2号 令和4年度歳入歳出決算について

歳入総額	2,905,611,780円
歳出総額	1,630,061,602円
歳入・歳出差引残額	1,275,550,178円

田代典夫常務理事が詳細な説明をし、その後、我妻浩治監事から「内部監査」、及び公認会計士により実施された「外部監査」の報告が行われた。

審議の結果、原案どおり承認可決された。

議案第3号 令和4年度歳計剰余金の処分について

歳入歳出差引剰余金	1,275,550,178円
準備積立金	0円
特別積立金	0円
別途積立金	350,000,000円
翌年度会計繰越金	925,550,178円

田代典夫常務理事が提案趣旨を説明し、上記の剰余金処分について原案どおり承認可決された。

議案第4号 理事及び監事の選挙について

三戸和昭常務理事から提案趣旨を説明し、神田雄司議長が選挙の方法について諮り、異議なく了承された。

選考は先の選考委員9名に議長・副議長を加えた選考委員会によって行われ、候補者の選考に入った。

選考委員会の結果について、三木敏嗣選考委員長から理事9名、監事2名を候補者として選考した旨、報告があり、神田雄司議長が採否を諮ったところ、全員異議なく次の11名が当選者と決定した。

《理事9名》

長瀬 清（再任：札幌市）
深澤 雅則（再任：札幌市）
三戸 和昭（再任：札幌市）
田代 典夫（再任：札幌市）
松家 治道（再任：札幌市）
今 真人（再任：札幌市）
菅田 忠夫（再任：小樽市）
鎌田 理（再任：岩見沢市）
滝山 義之（再任：旭川市）

《監事2名》

我妻 浩治（再任：石狩）
外園 光一（再任：小樽市）

当選者決定の報告の後、今回当選した役員を代表し、長瀬清理事から就任の挨拶が行われた。

以上で予定された議案がすべて終了し、閉会にあたり長瀬清理事長から閉会の挨拶がなされ、第131回通常組合会は午後4時51分閉会となった。

道医師国保組合公告

令和 5 年 9 月 1 日
道医国保公示第 474 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 長瀬 清

北海道医師国民健康保険組合規約第 35 条により選挙された令和 5 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日までを任期とする組合議員を次のとおり公示する。

なお、寿都支部・三笠市支部・旭川医科大学支部には組合員がいないため、組合議員定数には含まない。

第 33 期 組合会議員名簿
【任期 令和 5 年 7 月 1 日～令和 7 年 6 月 30 日】
(定数 56 名、欠員なし)

支 部 名	氏 名	支 部 名	氏 名
札幌市	羽田 健一	日 高	中村 宏
”	宮崎 誠一	岩見沢市	大川 岩雄
”	新谷 直昭	空知南部	板垣 里佳
”	佐野 宏行	夕張市	中條 俊博
”	三木 敏嗣	美唄市	井門 明
”	大嶋 哲夫	空 知	大渡 隆一郎
”	武井 崇	滝川市	本川 和義
”	神田 雄司	赤平市	佐々木 正人
”	坂本 裕史	芦別市	橋本 英明
”	中野 洋一郎	旭川市	上村 利彦
”	景山 正之	”	坂田 葉子
江 別	川口 聡	深 川	高橋 公平
石 狩	立石 圭太	富良野	内海 真
千 歳	坂本 孝志	上川郡中央	藤原 正文
恵庭市	石川 順一	上川北部	荒川 卓哉
北広島	中川 晃	留 萌	銭丸 達也
函館市	久保田 達也	宗 谷	伊坂 雅行
”	佐藤 信清	北 見	山川 康
渡 島	渋谷 好孝	紋 別	小林 正司
檜 山	經田 剛	遠 軽	瀧本 玲子
北部檜山	岩間 隼	美 幌	宮澤 学
小樽市	夏井 清人	網 走	金川 有一
羊 蹄	富田 均	帯 広市	稲葉 秀一
岩内古宇郡	北 慎一郎	十 勝	佐治 清
余 市	渡辺 裕喜雄	釧路市	柴田 香織
室 蘭市	福永 純	根室市外三郡	杉木 博幸
胆振西部	岩本 秀一	北海道大学	長谷河 昌孝
苫小牧市	加藤 茂治	札幌医科大学	吉田 瑞生

(敬称省略)

道医師国保組合公告

令和 5 年 9 月 1 日
道医国保公示第 475 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 長瀬 清

北海道医師国民健康保険組合の組合会議員に異動があったので、次のとおり公示する。

◎退任された議員 宮崎 誠一（札幌市：令和5年7月7日 辞任）

新谷 直昭（札幌市：令和5年7月7日 辞任）

◎就任された議員 高岡 和夫（札幌市：令和5年7月7日 就任）

上林 淑人（札幌市：令和5年7月7日 就任）

（任期：上記の組合会議員は、就任された年月日から前任者の残任期間である令和7年6月30日までとする）

道医師国保組合公告

令和 5 年 9 月 1 日
道医国保公示第 476 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 長瀬 清

選挙管理者

組合会議長 佐藤 信清

組合会副議長 神田 雄司

令和5年7月29日（土）開催の第131回通常組合会において、北海道医師国民健康保険組合選挙規程第6条の規定による役員選挙を行い、令和5年8月1日から令和7年7月31日までの2年間を任期とする役員が、次のとおり当選者と決定したのでこれを公示する。

〈 組 合 役 員 〉

理 事 長瀬 清（再任） 深澤 雅則（再任） 三戸 和昭（再任） 田代 典夫（再任）

松家 治道（再任） 今 眞人（再任） 菅田 忠夫（再任） 鎌田 理（再任）

滝山 義之（再任）

監 事 我妻 浩治（再任） 外園 光一（再任）

道医師国保組合公告

令和 5 年 9 月 1 日
道医国保公示第 477 号

北海道医師国民健康保険組合
理事長 長瀬 清

令和5年7月29日（土）開催の第131回通常組合会において役員選挙を行い、令和5年8月1日から2年間の任期とする役員が選出された。理事長、副理事長（各1名）、常務理事（2名）の役員は新役員によって互選されることになっており、第131回通常組合会終了後に『新役員による協議会』を開催し、本年8月1日からの理事長、副理事長、常務理事を互選したので、次のとおり公示する。

北海道医師国民健康保険組合新役員名簿

【任期：令和5年8月1日～令和7年7月31日】

（定数 理事9名・監事2名）

役職	氏名	摘要	役職	氏名	摘要
理事長	長瀬 清	（再任）	副理事長	深澤 雅則	（再任）
常務理事	三戸 和昭	（再任）	常務理事	田代 典夫	（再任）
	（コンプライアンス担当理事）			（会計担当理事）	
理事	松家 治道	（再任）	理事	今 真人	（再任）
理事	滝山 義之	（再任）	理事	菅田 忠夫	（再任）
理事	鎌田 理	（再任）			
監事	我妻 浩治	（再任）	監事	外園 光一	（再任）

道医国保組合のお知らせ

被保険者証の更新について

北海道医師国民健康保険組合では、令和5年9月に被保険者証の更新を行います。新しい被保険者証は、9月中にお手元に届くように簡易書留にて組合員宛に郵送いたします。

《被保険者証について》

項 目	現行の被保険者証	新被保険者証
交 付 年 月 日	令和2年9月1日	令和5年9月1日
有 効 期 限	令和5年9月30日	令和8年9月30日（注1）
証 の 色	パープル	サーモンピンク
被保険者証の使用	<u>令和5年9月30日まで使用可能</u> （注2）	<u>令和5年9月1日から使用可能</u> （注2）

（注1）被保険者証の有効期限は各被保険者ごとに異なります。

（注2）9月30日までは、現行の被保険者証および新被保険者証の両方が使用可能です。

《有効期限切れの被保険者証の返却》

返却は必要ありません。（今回の更新より変更となりました。）

ご自身で破棄をお願いいたします。

《被保険者の異動・記載内容の変更》

届いた被保険者証に変更がある場合は、お届けをお願いいたします。

被保険者の異動：「被保険者資格喪失届」「被保険者資格取得届」

住所・氏名の変更：「住所・氏名変更届」等

*届出先は各支部（所属の郡市医師会または医育機関医師会）となります。届出用紙は各支部の備え付け、または、組合ホームページ(<http://www.hokkaido.med.or.jp/kokuho/>)より印刷してご利用ください。

ご不明な点がございましたら、当組合担当係、または各支部（所属の郡市医師会または医育機関医師会）までお問い合わせください。

北海道医師国民健康保険組合：業務係（資格担当）

TEL 011-271-7471

